球磨支援通信

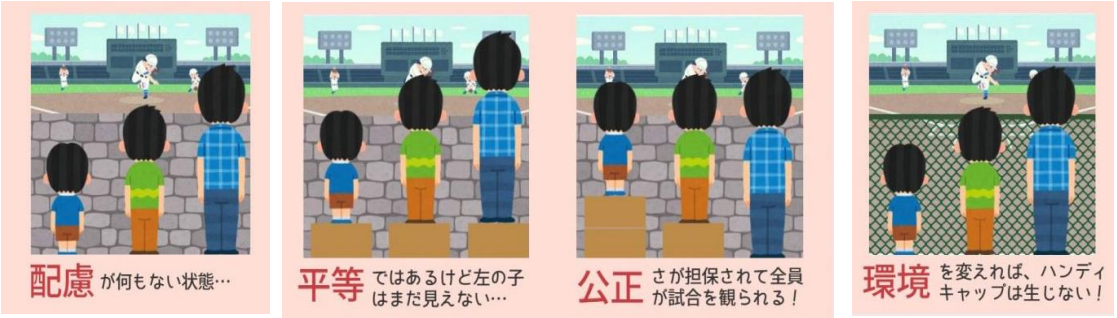
熊本県立球磨支援学校
令和４年(２０２２年)３月　第４号

今年度も残りわずかとなりました。この１年間を振り返り、児童生徒の成長や頑張り、今後取り組んでいきたい課題について、保護者や本人との面談を通して共通理解を図ったり、先生方同士で情報共有をされたりしていることと思います。今回は、「すべての児童生徒が安心して学校生活を過ごすことができるためには？」という視点で、合理的配慮やユニバーサルデザインについてご紹介します。新学期からの学級づくりや児童生徒理解に生かしていただけたらと思います。

合理的配慮

困難や障がいのある人であっても、周りの環境を整えたり、適切なサポートをしたりすることで、これまでできなかったことができるようになることがあります。合理的配慮とは、障がいがある人も、障がいのない人と同様に社会活動に参加し、自分らしく生きていくための必要な調整をするという考え方です。

困難や障がいのある人たちの障壁を視覚化すると・・・



合理的配慮の対象は？

日本では、合理的配慮を受けられる人を、障害者手帳を所持している人などと限定していません。様々な社会障壁によって実質的に障がいがもたらされている方も、合理的配慮の対象であると考えられています。それは、個人の心身の機能障がいだけでなく、社会の制度や環境が障壁となって、その人の生活に障がいをもたらしているとする、障がいの「社会モデル」という考え方が反映されているからです。

「配慮」という言葉を聞くと「してもらうもの」「してあげるもの」というニュアンスを感じるかもしれません。しかし、「合理的配慮」の原語である Reasonable Accommodation の Accommodation という言葉には、「調整・便宜」という意味合いが込められています。お互いにとって過ごしやすい環境を作るにはどうすればいいか？という発想をもって対話を進めることが大切です。 実際に行われる合理的配慮の内容は、本人と周囲の環境によって異なってきます。だからこそ、配慮を必要とする本人と配慮を実施する側との対話・合意形成が重要です。

合理的配慮の提供の例

・聴覚過敏の児童生徒のために机・いすの脚に緩衝材（テニスボール）をつけて雑音を軽減する。
・意思疎通のために絵や写真カード、ICT 機器（タブレット端末等）を活用する。
・入学試験において、別室受験、時間延長、読み上げ機能等の使用を許可する。

こちらに紹介している例はほんの一部です。本人のニーズに応じた合理的配慮を行う際に重要なことの１つが、周囲へ正しい理解を促すことだと考えます。共に学び合う中で、それぞれのよさや違いを知り、認め合うなかまづくりの一歩として取り組んでいく必要があります。

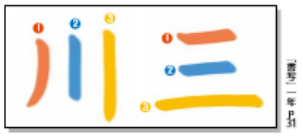
すべての人にとってのユニバーサルデザイン

自動ドア、シャンプー等のボトルについているギザギザ、公共施設等で見かける絵文字。私たちが利用しているこれらは「ユニバーサルデザイン（以下 UD）」といえます。UD とは「障がいの有無、年齢、性別、人種等にかかわらず、多様な人々が利用しやすいよう生活環境、製品、サービス等をデザインする考え方」とされています。教育の場に置き換えて考えてみると、すべての子どもたちがわかる・できる授業であるために、どのような教材・教具ならば、どのような環境ならばいいのだろう?という視点が私たちにはますます求められています。

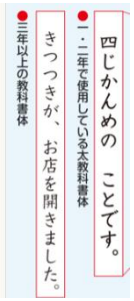
さて、子どもたちにとって大切な教材の１つが教科書です。教科書も UD の視点で様々な改善や工夫がされていますので、いくつかご紹介します。デジタル教科書の導入も県内で少しずつ進んでいるようです。学び方の選択肢が広がることで、自分に合った方法を選択・決定できる機会が増えますね。

【教科書の工夫】

〈色覚の多様性への配慮〉
- **より多くの人に見分けやすい配色と表示**
- **学習に集中しやすい落ち着いた色使い**



〈文字の読みやすさ、見やすさへの配慮〉
- **UD デジタル教科書体の使用**
- **学年に応じた使用フォントの変更**
- **単語や文節の途中で改行されない工夫**





〈想像力・読み取りへの配慮〉
- **文章のみで内容を捉えることが難しい場合、イラストや漫画を活用した視覚的な教材等**



【教室の環境整備】

学習環境や授業の中に UD の視点を取り入れることも重要です。誰にとっても分かりやすい、過ごしやすい工夫を、学級の実態に応じて取り組んでみてください。ある小学校（通常学級）の環境設営の一部です。



教室の前面はスッキリ！
集中できる環境設定





終わったらにっこりマーク！
見通しが持てる手立て



給食当番の子どもの名前

みんなが分かる！
必要な情報の掲示の仕方

＊参考資料＊
- 内閣府ホームページ（http://www.cao.go.jp）
- 文部科学省ホームページ（http://www.mext.go.jp）

質問や困ったことなどありましたら、電話、FAX でお気軽にお問い合わせください。

〈お問い合わせ先〉
熊本県立球磨支援学校
教頭：井村
特別支援教育コーディネーター：柴田
TEL：0966-42-3792
FAX：0966-42-6938
E-mail:kuma-s@pref.kumamoto.lg.jp
HP アドレス：http://sh.higo.ed.jp/kuma-s/

球磨支援学校の HP
QR コード